



鳥取県立むきばんだ史跡公園 年報2021



2022
鳥取県立むきばんだ史跡公園

目 次

I	令和3年度の事業概要	1	II	連携・協力	19
1	調査整備事業	1	1	教育機関との連携	19
(1)	保存整備	1	2	妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会	20
ア	仙谷地区整備基本設計	1	3	妻木晩田遺跡活用実行委員会	20
イ	妻木山地区復元高床倉庫（MKSB219） 屋根葺き替え	1	4	サークル活動	21
ウ	落石防護柵の設置	1	III	その他の事業	22
エ	茅葺き技術者講習会	2	1	とつとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト	22
オ	災害復旧	2	(1)	プロジェクトの概要	22
(2)	発掘調査	2	(2)	個別の事業概要	22
ア	第37次発掘調査（内容確認調査）	2	ア	よどえまるごと道草日和2021	22
イ	第38次発掘調査（内容確認調査）	3	イ	学ぶ・楽しむ淀江・大山の歴史遺産講座	22
ウ	機械ボーリング調査	4	ウ	法勝寺電車文化財指定10周年記念事業 法勝寺電車廃線ウォーク	23
2	維持管理事業	5	エ	法勝寺電車文化財指定10周年記念事業 まなぶ・楽しむ、よなごの鉄道遺産事業	24
(1)	史跡管理	5	オ	淀江傘伝承活性化事業	24
(2)	施設・設備管理	5	IV	利用状況	25
3	活用事業	6	1	入場者数	25
(1)	史跡PR	6	2	施設の利用状況と今後の対策	25
ア	教育旅行誘致（中止）	6	V	公園運営（令和3年度）	26
イ	観光情報説明会（中止）	6	1	組織	26
ウ	企画展・園外展示等	6	2	職員	26
①	園外展示		3	事業費	26
②	企画展		4	施設の概要（令和4年3月時点）	26
③	特別展		VI	資料	27
④	ロビー展示		1	関係例規	27
エ	公式ホームページのリニューアル	9	○鳥取県立むきばんだ史跡公園の設置及び管理 に関する条例	27	
オ	VR・AR	9	○鳥取県立むきばんだ史跡公園管理規則	30	
カ	公式動画サイト（YouTubeチャンネル） の拡充	9	2	利用案内	34
キ	パンフレット等	10	①	史跡公園の主な施設	
(2)	講座・イベント・弥生体験	10	②	史跡公園の開園時間と休園日	
ア	弥生のものでづくり講座～上級編～	10	③	史跡公園の入園料・入館料	
①	弥生土器づくり		④	史跡公園施設の利用と占有	
②	野焼き		⑤	史跡公園の見学	
イ	弥生の森講座	11	⑥	史跡公園での弥生体験など	
①	弥生の道具と樹木利用		⑦	禁止行為	
②	むきばんだの森観察会		3	鳥取県立むきばんだ史跡公園の沿革	38
ウ	むきばんだ遺跡土曜講座	12			
エ	むきばんだジュニアファンクラブ	12			
オ	むきばんだ女子考古部	13			
カ	トリドリむきばんだ（中止）	13			
キ	むきばんだフェスタ	14			
①	トリドリむきばんだ				
②	秋のライトアップむきばんだ				
③	ノルディック・ウォークむきばんだ				
④	全日程共通イベント				
ク	スペシャルイベント	17			
①	古代と自然探検ラリー				
②	なりきり弥生人生活（中止）				
ケ	弥生体験	17			
①	はっくつ体験（中止）				
②	お気楽♪弥生気分！				
コ	その他	17			
①	むきばんだを探せ！				
②	らくらくサイクリング事業				

I 令和3年度の事業概要

1 調査整備事業

(1) 保存整備

令和3年度の保存整備は、仙谷地区整備基本設計、復元高床倉庫（MKSB219）の屋根葺き替え、落石防護柵の設置、災害復旧等を実施した。

ア 仙谷地区整備基本設計

対象 仙谷地区

期間 令和3年9月3日（金）～令和4年3月18日（金）

概要

仙谷地区西側丘陵（仙谷1・8・9号墓）、東側丘陵の一部（仙谷4・6・7号墓）の整備を行うため、仙谷地区整備基本設計を実施した。そこでは、遺構保護のための造成・整地（仙谷1・8・9号墓）、当時の墳丘墓の姿を復元して展示する復元表示（仙谷1号墓）、遺構の位置を表示する遺構表示（仙谷4・6・7・8・9号墓）、管理道、便益施設等の基本設計を行ったほか、工事に必要な測量、景観整備に必要な視界の妨げとなる支障木の調査を行った。



仙谷地区整備イメージ図

イ 妻木山地区復元高床倉庫（MKSB219）屋根葺き替え

施工場所 妻木山地区

期間 令和3年12月21日（火）～令和4年3月18日（金）

概要

整備されてから10年以上経過し、老朽化による雨漏りの発生リスクが高くなっていた妻木山地区復元高床倉庫（MKSB219）について、屋根の葺き替えを行った。

葺き替えの範囲は屋根全体とし、茅を撤去したうえで、垂木や木舞等の建築部材の点検を行い、腐食したロープの取り替えやロープの締め直しを行った。

茅は鳥取県産を使用し、その葺き方は逆葺きとし、茅押さえのロープを茅の上にくぐらせて完成した。



復元高床倉庫（MKSB219）屋根葺き替え作業

ウ 落石防護柵の設置

施工場所 西伯郡大山町妻木字晩田山、米子市淀江町福岡

期間 令和3年11月11日（木）～令和4年3月4日（金）

概要

県道から園内へ進入する道路脇の法面から落石の恐れがある危険な状態であったため、進入路に転落した礫が道路上に入り込まないように、危険箇所（180 m間）に落石防護柵を設置した。

エ 茅葺き技術者講習会

近年、深刻な人材不足が懸念されている茅葺き技術について、技術の保存と人材の裾野を広げることを目的として、外部から講師を招聘して講習会を行った。

講習は2日間にわたって開催し、座学講習と実地講習を行った。座学講習では茅葺きの歴史や類型について学び、実地講習は園内の修繕が必要な竪穴住居を活用し、実際に茅を葺きながら技術の習得を目指した。ロープの結び方や、屋根端部、中央の葺き方、棟じまいまでを学び、2日間の講習会の修了者には修了証を授与した。

期 間 令和3年12月11日(土)・12日(日)

講 師 座学講習
小林 久高 氏(島根大学総合理工学部 准教授)
実地講習
長野 直人 氏(美山茅葺株式会社 取締役)

対 象 鳥取県内で建築業等に携わる方で茅葺き技術を事業に活用する意思のある方

参加者数 10名



茅葺き技術者講習会実施状況

オ 災害復旧

施工場所 米子市淀江町福岡

期 間 令和3年11月16日(火)～令和4年11月30日(水)

令和3年7月に降った大雨のため、史跡指定地内の斜面の一部が崩落した。史跡を保護し、同様の崩落が起こらないようにするため、災害復旧事業を行った。

(2) 発掘調査

令和3年度は、第37次発掘調査(仙谷地区)と第38次発掘調査(妻木新山地区)を同時に実施した。また、松尾頭地区谷部において機械ボーリング調査を実施した。

ア 第37次発掘調査(内容確認調査)

調査対象 仙谷地区 仙谷1号墓

調査期間 令和3年10月25日(月)～令和4年1月6日(木)

調査面積 56.78㎡

調査担当 森藤 徳子

調査課題 墳丘形状等の確認(整備設計のための発掘調査)

概 要

第37次発掘調査は、今後の史跡公園整備計画地である仙谷1号墓について、墳形などの設計のために必要な情報を得るために、内容確認調査を実施した。

仙谷1号墓は仙谷地区西側丘陵に立地し、過去2回の発掘調査によって弥生時代後期中葉に築造された貼石を持つ妻木晩田遺跡最大の四隅突出型墳丘墓であることが判明していた。

第37次発掘調査では、仙谷1号墓の縦横断面図を作成し、墳丘の規模を確認することと、未調査である北西突出部の形状を確認することを目的に、過去に調査されたトレンチを利用して調査区を設定した。調査したトレンチは、トレンチ6(墳丘東辺～墳頂部)、10(墳丘北側～墳頂部)、13(旧5トレンチ含む)(墳丘西辺及び南辺～墳頂部)、14(北西突出部)、15(南西突出部西辺)の5箇所である。

調査の結果、突出部を含まない墳丘規模は東西 12.5 m、南北 13 m、残存墳丘高は貼石下端から最大 1.7 mであることを確認した。縦横断面により、削り出し整形した丘陵基盤層、墳丘盛土、貼石裏込め土を確認し、墳丘の築造方法について検討材料を得ることができた。

北西突出部の調査では、墳丘西辺の貼石構造で墳丘斜面の貼石と墳丘裾部の立石列との間に敷石列が存在することを確認した。この構造は、これまでの仙谷 1 号墓の調査では確認されていなかったものであり、仙谷 1 号墓の貼石構造には 3 種類（①墳丘斜面の貼石のみ、②墳丘斜面の貼石＋立石列、③墳丘斜面の貼石＋敷石列＋立石列）があることを確認した。また、突出部上面には貼石をほとんど施していなかった可能性があり、洞ノ原墳丘墓群における四隅突出型墳丘墓との構造の違いを確認することができた。

墳丘の築造時期については、墳頂部のトレンチ調査において標石の可能性のある自然石とともに、甕、台付鉢、器台が盛土中の高さから出土した。土器はいずれも弥生時代後期前葉のものであり、仙谷 1 号墓の築造時期が 1 段階古くなる可能性がある。

仙谷 1 号墓の調査成果については、令和 4 年度に整理作業を行い、令和 5 年度以降に報告書を刊行する計画としている。



第 37 次発掘調査 墳丘西辺貼石検出状況

イ 第 38 次発掘調査（内容確認調査）

調査対象 妻木新山地区 2 区北側斜面部

調査期間 令和 3 年 10 月 25 日（月）～令和 4 年 1 月 6 日（木）

調査面積 83.22㎡

調査担当 森藤 徳子

調査課題 丘陵斜面部の内容確認（重点調査候補地選定のための発掘調査）

概 要

第 38 次発掘調査は、妻木新山地区 2 区北側斜面部において遺構の分布状況等を確認するために内容確認調査を実施した。

過去の調査では、妻木新山地区 2 区南側斜面部で令和元・2 年度にそれぞれ第 35 次、第 36 次発掘調査を実施し、集落形成期から展開期（弥生時代後期前葉～後期中葉）の時期の遺構が斜面中腹付近まで存在することを確認した。これを受けて、第 38 次発掘調査では、未調査である妻木新山地区 2 区北西斜面部（妻木新山地区 3 区南東斜面部）及び 2 区北東斜面部においてトレンチ調査を実施した。

妻木新山地区 2 区北西斜面部では、弥生時代後期前葉の竪穴住居跡を多数確認している妻木新山地区 3 区の南東側（集落上方斜面部）に長さ 20 m×幅 2 m のトレンチを設定して調査を行った。

調査の結果、時期不明の落とし穴やピットを検出したものの、竪穴住居跡等の大型の遺構は検出されなかった。トレンチの東側では、現地形で複数の窪地を確認したため、特徴的な窪地において 8 か所の確認用トレンチを設定して調査を行ったが、弥生時代の遺構は検出されなかった。また、遺物は 1 点も出土していない。これらのことから、集落上側の斜面部は弥生時代には居住域として利用されていなかったと想定できる。

妻木新山地区 2 区北東斜面部では、弥生時代後期前葉から後期中葉の竪穴住居跡を確認して

I 令和3年度の事業概要

いる平坦地の下方斜面部に長さ20m×幅2mのトレンチを設定して調査を行った。

調査の結果、丘陵平坦面に近く傾斜のほとんどない場所（トレンチ南西端）において、柱穴や周壁溝を伴う竪穴住居跡を検出した。弥生土器や石器が出土し、時期は弥生時代後期前葉の可能性がある。その竪穴住居跡の北東側である斜面下方（傾斜のある場所）では、遺構は検出されなかった。ただし、炭化物や弥生時代後期前葉～中葉の土器が集中する範囲があり、居住域から斜面下方に向けて不要物を投棄したと想定できる。

今後も妻木新山地区北側斜面地での内容確認調査や分布調査を行う。また、次年度の発掘調査は、妻木新山地区2区の南側斜面部で調査（重点調査）を実施する計画である。



第38次発掘調査区トレンチ2調査終了状況

ウ 機械ボーリング調査

調査対象 松尾頭地区9区南東側谷部

調査期間 令和3年12月13日（月）～22日（水）

調査地点 4地点

調査担当 森藤 徳子

調査課題 谷部における古環境の解明（水場・植生）

概要

妻木晩田遺跡では、これまで妻木山地区の2か所の谷部において機械ボーリング調査を行っ

ている。今回は、未調査である松尾頭地区の谷部の中で、堆積状況確認が見込める地点において機械ボーリング調査を行った。谷部の堆積状況を確認するために、谷を横断する軸を2本設定し、それぞれ2地点を定めて地表から5m～7mの深度でボーリング・コアを採取した。

採取したボーリング・コアは、令和4年度に古環境解明のために必要な自然科学分析を実施する。



機械ボーリング調査

2 維持管理事業

令和元年度から、維持管理事業を指定管理者に委託して実施している。

(1) 史跡管理

来園者が園内を安全に散策ができるように、景観保全にも留意しながら以下の業務を行った。

- ・ 史跡内巡視及び安全管理
- ・ 除草、樹木及び芝生管理
- ・ 復元建物の維持・安全管理（燻蒸作業・補修・消防訓練等）
- ・ 園路及び管理道等の維持・安全管理

【特記事項】（○：指定管理者）

○除草、樹木及び芝生管理

除草作業、樹木の特性と景観に配慮した剪定、危険木の伐採を行った。また、芝生の地下茎を保護するための目砂を散布した。

○復元建物の維持・安全管理（燻蒸作業・補修・消防訓練等）

住居内の湿度管理、部材の腐朽防止を目的とした燻蒸作業、復元建物を長期的に維持していくための屋根修繕（経年劣化で傷んだ杉皮の取り換えや茅の葺きなおし等）を実施した。

※例年、燻蒸作業は湿度の上がりをはじめ5月以降、消防訓練を実施した後に開始している。

○園路及び管理道等の維持・安全管理

洞ノ原地区園路の劣化・破損した手すりや柵等を修繕した。また、冬季には積雪でも見学できるように園路や駐車場の除雪を行った。

(2) 施設・設備管理

来園者が快適かつ安全に施設を利用できるように、以下のように事務所等の施設の維持管理修繕を行った。

- ・ 事務所等の施設設備の維持・管理

- ・ 事務所等の施設設備の修繕、改修

【特記事項】（●：県、○：指定管理者）

●常設展示ケース内外壁クロス張替え

○展示ケース内遺物展示台クロス貼替え

平成22（2010）年のガイダンス施設（弥生の館むきばんだ）開館以降、展示室の一角に設置したガラス展示ケース内において出土遺物等を展示してきた。しかし、長年の経年劣化（日光の影響）により、展示ケース内の壁面や展示台のクロスの日焼けが進行していたため、内装等の貼替え修繕を行った。

○ガイダンス棟ウッドデッキ塗裝修繕

体験学習室外側にあるウッドデッキは、火おこしをはじめとする様々な古代体験を行ったり、来園者が休憩したりするためのスペースとなっているが、経年劣化により色褪せや塗膜の剥がれが目立っていたため修繕を行った。

○ガイダンス棟体験学習室雨漏り修繕

体験学習室で雨漏りが発生したため、応急的な修繕を行った。

○新型コロナウイルス対応

新型コロナウイルス感染防止対策として、建物内の換気・定期消毒を行った。来園者へは手指消毒及び体温測定、連絡先等の記入、フィジカルディスタンスを確保するよう協力いただいた。

●体験学習室・映像室の照明増設

講座等に使用する体験学習室、映像展示、特別展示に使用する映像室の環境改善のため照明を増設した。

●「弥生の館」外壁塗装等修繕

ガイダンス施設「弥生の館」において、劣化していた外壁の塗装、ぐらつきのあった展示解説パネルの補強を行った。また、ガイダンス棟の窓から差し込む日光が展示している出土品に直射することを防ぐため、遮蔽用の下がり壁を新たに設置した。

●施設内 LAN ケーブル配線増設

施設内の通信環境改善のため、LAN ケーブルの増設を行った。

●顔出しパネル修繕

劣化・破損のあった顔出しパネルの修繕を行った。

3 活用事業

(1) 史跡PR

ア 教育旅行誘致 (中止)

例年、教育旅行の積極的な誘致を図るため、鳥取県教育旅行誘致促進協議会主催の「教育旅行情報説明会・商談会」に参加してきたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大によって令和2年度に引き続き中止となった。

令和2年度から新型コロナウイルス感染症の拡大により県内の小中学校による修学旅行等の需要が増大していたことから、学校関係者用の案内パンフレットを県内の学校に送付し、史跡をPRした。

イ 観光情報説明会 (中止)

例年、観光旅行の積極的な誘致を図るため、公益社団法人鳥取県観光連盟主催の「観光情報説明会・商談会」に参加してきたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大によって令和2年度に引き続き中止となった。

ウ 企画展・園外展示等

①園外展示

「むきばんだ史跡公園巡回展（妻木晩田遺跡の魅力を伝える写真・パネル展示）」(中止)

会場 パープルタウン（倉吉市）

イオンモール日吉津（日吉津村）

開催予定期間

令和4年2月4日（金）～6日（日）（パープルタウン）

令和4年2月23日（水・祝）～27日（日）
（イオンモール日吉津店）

内容

県中・西部の大型ショッピングモールなど、地域の中核となる施設で遺跡や施設の紹介を行うパネル展示を計画した。今回は、妻木晩田遺

跡の魅力伝える写真・パネル展示と併せて、県内の遺跡について紹介する「因伯の山城50選」選定写真の同時展示を企画した（県埋蔵文化財センターとの共催展示として企画）。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行状況を勘案し、すべての展示について中止した。

②企画展

パネル展「記念物100年」展

期 間 令和3年7月1日(水)～25日(日)

会 場 調査研究棟 企画展示室

内 容

文化庁主催「記念物100年」展参加事業である。「記念物」の大切さを伝え、全国の「記念物」に関する取組みについて紹介するパネル展示を実施した。



パネル展「記念物100年」展

夏・秋季企画展「発掘調査研究成果展 むきばんだムラの食・事情」

会 場 調査研究棟 企画展示室

期 間 令和3年8月1日(日)～11月28日(日)

内 容

弥生人の食料生産と保管をテーマとした企画展を実施した。弥生時代の食料の獲得、調理、貯蔵について妻木晩田遺跡の最新の調査・研究成果を織り交ぜながら解説し、「食」を通して弥生時代の暮らしに迫る内容となった。展示室

内には展示解説リーフレットを配架し、専門的な内容をさらに分かりやすく解説した。



発掘調査研究成果展
むきばんだムラの食・事情

冬季企画展「遺跡からわかる弥生時代の暮らし」

会 場 調査研究棟 企画展示室

期 間 令和3年12月1日(水)～2月27日(日)

内 容

遺跡から見つかる様々な出土品についての詳しい解説や、当時の集落の様子を分かりやすく伝える展示を行った。ガイダンス棟の常設展示からさらに知識を深め、児童生徒の歴史学習に生かすことができる内容となった。

巡回展「Kid's考古学新聞」

会 場 調査研究棟 企画展示室、ロビー

期 間 令和4年3月4日(金)～5月8日(日)

内 容

民間団体「Kid's考古学研究所」主催の「Kid's考古学新聞コンクール」第1回・第2回入賞作品や最終選考に進んだ作品など45点を展示した。全国巡回展参加事業。

③特別展

「仙谷8号墓」展

期 間 令和3年4月16日(金)～9月30日(木)

I 令和3年度の事業概要

会場 ガイダンス棟 映像室

内容

妻木晩田遺跡では唯一の出土人骨であり、脆弱なため常時公開が難しい仙谷8号墓出土の人骨の展示を中心に、仙谷8号墓の紹介展示を実施した。



「仙谷8号墓」展

『「因伯の山城50選（暫定版）春」応募写真」展

期間 令和3年10月13日（水）～11月29日（日）

令和3年12月25日（土）～令和4年3月27日（日）

会場 ガイダンス棟 映像室

内容

鳥取県埋蔵文化財センター主催事業である。『「因伯の山城50選（暫定版）春」応募写真のうち、「埋蔵文化財センター賞」受賞作品が展示された。

とっとり弥生の王国プレミアムイベント「青谷弥生人の復顔像」展

期間 令和3年12月4日（土）～19日（日）

会場 ガイダンス棟 映像室

内容

鳥取県地域づくり推進部文化財局ととっとり弥生の王国推進課主催事業。「青谷弥生人」を鳥取県西部で初めて公開するものであり、期間内の土曜日・日曜日には青谷上寺地遺跡整備室の職員による展示解説が行われた。



「青谷弥生人の復顔像」展

④ロビー展示

これまではトピック展示を企画展示室となりで実施していたが、研究棟ロビーに照明設備等を増設し、壁面も展示空間として利用できるよう整えたことから、展示ケースの配置を見直し、ロビー展示としてリニューアルした。令和3年度は、職場体験学習にきた中学生と協力し、妻木晩田遺跡の最新の発掘調査成果や講座の内容を紹介するロビー展示を企画、実施した。



ロビー展示

エ 公式ホームページのリニューアル

スマートフォンで見やすいようにホームページのレイアウトを変更し、令和4年3月25日に公開した。リニューアルに伴ってホームページのデザインを一新し、閲覧者が必要とする史跡公園の情報に対してより早く辿り着きやすいよう工夫した。

オ VR・AR

むきばんだ史跡公園に整備した弥生の村をもっと楽しく散策するためにARコンテンツを制作した。フリーWi-Fiが利用できる「弥生の館 むきばんだ」の展示室でこれらのコンテンツが視聴できるように、各コーナーに視聴用のQRコードを設置している。

【制作したコンテンツ】

○むきばんだ 360度写真ツアー

スマートフォンでQRコードを読み込んでから見たい場所の番号を選ぶと、むきばんだ史跡公園内の「おすすめビューポイント」や復元した竪穴住居・高床倉庫などの360度写真が見られる。また、VRゴーグルを使用すれば、VRコンテンツとしても利用できる。

○空から見たむきばんだ

スマートフォンでQRコードを読み込んでから展示室床面の航空写真にかざすと、妻木晩田遺跡の周辺を巡る映像が見られる。妻木晩田遺跡の大きさを体感してもらうことができる。

○鉄器製作再現

スマートフォンでQRコードを読み込んでから鉄器製作を再現した模型にかざすと、実写による鉄器製作再現動画が見られる。模型だけでは分からない、実際の作業風景を体感してもらうことができる。

○まつり再現

スマートフォンでQRコードを読み込んでから「まつり」の様子を表した壁画にかざすと、実写によるまつり再現動画が見られる。再現し

た琴や土笛を使った音楽も合わせて、まつりの雰囲気を感じてもらえることができる。

カ 公式動画サイト（YouTubeチャンネル）の拡充

新型コロナウイルス感染症の拡大によりイベント、体験等の開催が困難になるなか、家庭でも楽しめる史跡公園のコンテンツとしてYouTubeチャンネルを令和2年度から開設している。令和3年度は、動画コンテンツの拡充を図った。

【とっとり弥生の王国PV】

- ・Vol.1「甦る弥生の国邑 妻木晩田遺跡」

【むきばんだPV】

- ・「むきばんだ史跡公園 空中散歩（2021年春）」
- ・「妻木晩田遺跡の四季」
- ・「学習漫画 むきばんだの暮らし」
- ・「王の証明－仙谷8号墓の石棺を開く－」
- ・「ライトアップむきばんだ2021」
- ・「むきばんだ史跡公園から見た隠岐の島」

【弥生のものづくり講座】

- ・「ガラス勾玉づくり」

【お気楽♪弥生気分！】

- ・「本格石包丁づくり」
- ・「火おこし」
- ・「ムラ長の座をかけて火おこし対決」

(<https://www.youtube.com/c/mukibanda-shiseki>)



【特記事項】

公式動画サイト（YouTubeチャンネル）

「王の証明－仙谷8号墓の石棺を開く－」

公開日 令和4年3月7日（月）

内容

平成28年に行った妻木晩田遺跡最大級の墳丘墓「仙谷8号墓」埋葬施設の調査について、10分程度の記録動画（ダイジェスト版）にまとめて、公式YouTubeチャンネルに公開した。

(<https://www.youtube.com/watch?v=FkuAbCQzttU>)



キ パンフレット等

○漫画学習資料「むきばんだの暮らし」

これまでむきばんだ史跡公園で作成された児童向けパンフレットは、公園や体験の紹介のためのものであったが、近年増加している学校利用の需要に対応し、社会科の授業にも使用できるように学習用資料を作成した。

子どもたちが読みやすいようパンフレットの前半は漫画を掲載し、後半に漫画内の重要部分についての解説を掲載した。

パンフレットは修学旅行や校外学習、出前授業で児童向けに配布している。



学習まんが むきばんだの暮らし

(2) 講座・イベント・弥生体験

当年度はイベント開催において新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けた1年と

なった。イベント・講座の計画に際しては鳥取県生活環境部くらしの安心推進課との協議を行い、適切な感染症対策を行った上で実施した。

ア 弥生のものでづくり講座～上級編～

①弥生土器づくり

開催日 令和3年7月17日(土)～18日(日)

講師 むきばんだ土器づくりの会

参加者 9名

内容

妻木山第166号竪穴住居跡(MKSI-166)出土の甕(弥生時代後期後葉:2世紀後半頃)をモデルにした土器復元製作体験を通して、弥生時代の暮らしや技術を知る体験学習講座として実施した。

はじめにモデルとした甕の概要について解説し、作業は粘土練りからはじめた。1日目で底部から肩部の成形を行い、2日目で肩部から口縁部の成形と器面調整及び施文を行った。講師の支援のもと、参加者全員が2日間で土器を完成させることができた。

②野焼き

開催日 令和3年10月2日(土)～3日(日)

講師 むきばんだ土器づくりの会

参加者 6名

内容

覆い型の窯を築く「雲南式」の野焼きによる土器焼成の体験学習で、7月に行った弥生土器づくり講座とセットで2日間にわたって開催した。当初は、令和3年9月4日(土)～5日(日)に実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1ヶ月延期して実施した。

○1日目

薪を3段に組んでから藁で土台を作り、土器を並べた後に藁で覆い、クロボクを練った泥土を貼って窯を構築した。点火後は、随時空気の流入を調整し、温度の管理に努めた。夜には職員が宿直し、安全管理に努めるとともに焼成中

の窯の温度変化を記録した。

○2日目

窯の壁を壊し、土器を取り出した。一部でヒビや剥がれなど小さな破損が認められたものの、概ね完全な形で焼成することに成功した。



弥生のものづくり講座
「弥生土器づくり（土器製作）」



弥生のものづくり講座
「弥生土器づくり（野焼き）」



弥生のものづくり講座
「弥生土器づくり（野焼き）」

イ 弥生の森講座

弥生時代の植生に近い「むきばんだの森」で見られる樹木等の観察を通して弥生時代の植生や樹木利用について学ぶことを目的に実施した。

①弥生の道具と樹木利用

開催日 令和3年11月3日（水・祝）

講師 中原 計 氏（鳥取大学地域学部 准教授）

参加者 14名

内容

当初、令和3年7月22日（木・祝）に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期して実施した。

弥生時代の植生や道具と木材利用について講義を受けた後、ガイダンス施設「弥生の館むきばんだ」の展示で弥生時代の人々が森とどう関わったかについて解説を聞くとともに、むきばんだ史跡公園内に整備したテーマ林「道具の森」の見学を行った。見学後、復元した袋状鉄斧と扁平片刃石斧による木材加工体験や、鉄製楔と木製楔による木材分割体験を行って、弥生時代の木材加工技術について学んだ。



弥生の森講座「弥生の道具と樹木利用」

②むきばんだの森観察会

開催日 令和3年10月16日（土）

講師 鷺見 寛幸 氏（鳥取県自然観察会 指導員）

参加者 17名

内 容

むきばんだ史跡公園に整備したテーマ林「木の實の森」～「虫の森」～「道具の森」を巡った後に、園内でクリ拾いを行うという流れで計画したが、当日は雨天で徐々に雨足が激しくなったため、「木の實の森」の見学のみ実施した。



弥生の森講座「むきばんだの森観察会」

ウ むきばんだ遺跡土曜講座

令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響によって延期や中止を余儀なくされたことから、令和3年度からは全ての回でオンライン配信を併用することとした。その結果、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった8月と2月についても、会場での聴講は中止したものの、オンライン配信で開催することができた。

第1回「弥生のまつり」

開催日 令和3年6月26日（土）

講 師 枡家 豊（鳥取県立むきばんだ史跡公園 文化財主事）

参加者 24名（会場16名、オンライン8名）

**第2回「むきばんだ前、むきばんだ後
～原始・古代、5000年間の淀江～」**

開催日 令和3年8月28日（土）

講 師 中原 斉（米子市経済部文化観光局 文化振興課 専門官）

参加者 16名（※新型コロナウイルス感染症拡大のためオンラインのみ実施。）

会場聴講の申込みは20名）

第3回「建築部材から考える弥生の建物」

開催日 令和3年10月23日（土）

講 師 茶谷 満（鳥取県立博物館 専門員兼主任学芸員）

参加者 30名（会場20名、オンライン10名）

第4回「妻木晩田遺跡を掘る！～発掘調査最新報告2021～」

開催日 令和3年12月18日（土）

講 師 森藤 徳子（鳥取県立むきばんだ史跡公園 文化財主事）

参加者 27名（会場16名、オンライン11名）

第5回「弥生人の暮らしをさぐる」

開催日 令和4年2月26日（土）

講 師 玉木 秀幸（鳥取県立むきばんだ史跡公園 係長）

参加者 10名（※新型コロナウイルス感染症拡大のためオンラインのみ実施。会場聴講の申込みは20名。）



むきばんだ遺跡土曜講座（第4回）

エ むきばんだジュニアファンクラブ

対 象 小学4年生から6年生

参加者 10名

内 容

むきばんだ史跡公園での2か月に1回の体験を通じて弥生時代をより深く感じ取ることが出来る連続講座。今年は米づくりとそれにかかわる道具の作成と使用を中心に体験を実施し、当

時の生活を実感した。

- 第1回** 令和3年6月19日(土)
結団式・遺跡案内
- 第2回** 令和3年8月24日(火)から29日(日)
までの希望日
弥生土器づくり
- 第3回** 令和3年9月11日(土)
石器・鉄器づくり・収穫
- 第4回** 令和3年11月13日(土)
金属のやじりづくり・脱穀
- 第5回** 令和4年1月9日(土)
特別体験(新型コロナウイルス感染症拡大
防止のため中止)



ジュニアファンクラブ(第3回)

オ むきばんだ女子考古部

対象 考古学に興味のある女性

参加者 9名

共催 妻木晩田遺跡活用実行委員会

内容

考古学に興味があり、活動の様子をブログやSNS等で発信してくださる女性をターゲットにした「考古学の部活動」。例年は通年で活動していたが、令和3年度は定期的な開催の見通しが立たなかったため、新規部員の募集はせず、体験入部会として単発の企画とした。令和3年11月～令和4年3月までに計4回を企画し実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、開催できたのは2回である。

【企画内容】

- 第1回** 令和3年11月28日(日)
仙谷1号墓に会いに行く会
- 第2回** 令和3年12月19日(日)
竪穴住居のメンテナンスをする会
- 第3回** 令和4年1月～2月
雪に埋もれた竪穴住居を巡る会 ※中止
- 第4回** 令和4年3月6日(日)
墳丘墓を語りながら手芸で「よすみグッズ」
を作る会 ※中止



女子考古部(第1回)

カ トリドリむきばんだ(中止)

開催予定日 令和3年5月2日(日)・3日
(月・祝)

共催 妻木晩田遺跡活用実行委員会

内容

大型連休期間中に日替わりで様々な古代体験を楽しんでもらうイベントとして、多目的広場と「弥生の館むきばんだ」を主会場に、火おこし、勾玉づくりなどの古代体験イベント「トリドリむきばんだ」と、「むきばんだ花絵」「むきばんだアートバザール」の同時開催を計画した。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大のため「トリドリむきばんだ」は中止となり、「むきばんだ花絵」と「むきばんだアートバザール」のみ実施となった。

【企画内容】

○5月2日（日）

- ・弥生の琴づくり（協力：鳥取県とっとり弥生の王国推進課青谷上寺地遺跡整備室）

○5月3日（月・祝）

- ・弥生の簪を作ろう！（協力：鳥取県埋蔵文化財センター）

○全日程共通

- ・勾玉づくり（滑石・琥珀）
- ・ミニ墳丘墓づくり
- ・狩人体験
- ・火おこし
- ・探索ゲーム「むきばんだの謎」
- ・むきばんだBINGO
- ・むきばんだを探せ
- ・むきばんだ宝探し
- ・むきばんだ花絵（協力：とっとり花回廊）
- ・むきばんだアートバザール（協力：小渕祥子さん、むきばんだ朝市の会、むきばんだ女子考古部）



アートバザール



むきばんだ花絵

キ むきばんだフェスタ

例年、秋に「むきばんだまつり」を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も大規模集客イベントの開催が困難であった。そこで、古代体験イベント「トリドリむきばんだ」を核として、6日間にイベントを分散して来園者の集中を防ぐ形で開催することとし、各種イベントを「むきばんだフェスタ」として一体的に広報した。

開催日

令和3年11月3日（火・祝）「遺跡で星を見る会」（天候不良により中止）

11月6日（土）・7日（日）「トリドリむきばんだ」

11月13日（土）・14日（日）「秋のライトアップむきばんだ」

11月23日（火・祝）「ノルディック・ウォークむきばんだ」

参加者 1,448名

共催 妻木晩田遺跡活用実行委員会

①トリドリむきばんだ

新型コロナウイルス感染症対策として、古代体験ブースは参加人数を限定し、事前申込制で実施した。また、デジタルスタンプラリー、デジタルフォトフレーム、360度VR画像の視聴など、スマートフォンを使った非接触での体験コンテンツを導入した。

○11月6日（土）

- ・木の実工作（協力：鳥取県立大山青年の家）
- ・かんざしづくり（協力：鳥取県埋蔵文化財センター）

○11月7日（日）

- ・ハス紙を使ったハスランタンづくり（協力：米子市上淀白鳳の丘展示館）
- ・弥生の琴づくり（協力：青谷上寺地遺跡整備室）
- ・貝輪づくり（協力：青谷上寺地遺跡展示館）

○2日間共通

- ・勾玉づくり（滑石・琥珀）
- ・ミニ墳丘墓づくり
- ・狩人体験
- ・火おこし
- ・探索ゲーム「むきばんだの謎」（リキッドARシステム併用）
- ・むきばんだBINGO
- ・むきばんだを探せ
- ・むきばんだ宝探し



むきばんだフェスタ「トリドリむきばんだ」

②秋のライトアップむきばんだ

妻木山地区「弥生のムラ」を会場として、「弥生と現代のムラ明かりの融合」をメインテーマにライトアップを開催した。

今回は、復元した竪穴住居と高床倉庫を19基の発光ダイオード（LED）ライトで照らし、自由に散策できるようにした他、新たに竪穴住居の中を見学できるように工夫し、アーティストによる影絵が見られる住居や、室内に吊り下げたひょうたんランプ群と床に並んだハスランタンの明かりに包まれる住居など、展示空間としての体験も加えた。また、弥生時代の「炎の宴」をテーマに「炎」の竹灯籠を囲んで「踊る弥生人」、村を駆け抜ける「森の動物たちの世界」そして会場導入路に並べた高さ2mの竹灯籠や球体の竹細工など、史跡公園職員が作成した作品も並べて見ごたえある会場演出となった。

「ライトアップむきばんだ」では、史跡公園では初めてSNS広告を導入し、新たな来園者の獲得につなげた。ライトアップの様子は記録動画としてイベント後にYouTube公式チャンネルに公開した。

(<https://www.youtube.com/watch?v=e4grFp25GOo>)



会 場 妻木山地区「弥生のムラ」

試験点灯 令和3年11月12日（金）

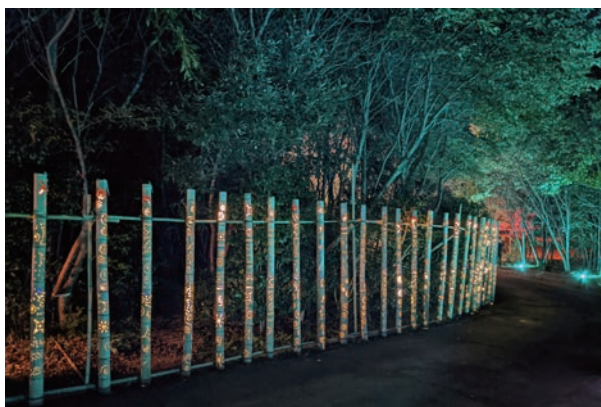
本 番 令和3年11月13日（土）・14日（日）

SNS 広告配信期間と範囲

令和3年11月4日（木）～13日（土）

むきばんだ史跡公園から半径20km 範囲

配信媒体：Facebook・Instagram



むきばんだフェスタ
「秋のライトアップむきばんだ」

③ノルディック・ウォークむきばんだ

健脚コース、ファミリーコースの2コースで参加者を募集し、「ウォーキング立県19のまちを歩こう事業」認定大会として実施した。

開催日 令和3年11月23日(火・祝)

健脚コース：むきばんだ史跡公園から上淀廃寺跡(米子市淀江町)まで往復する8キロ
ファミリーコース：むきばんだ史跡公園の見どころを周回する4キロ

運営協力：全日本ノルディック・ウォーク連盟
鳥取県西部支部



むきばんだフェスタ
「ノルディック・ウォークむきばんだ」

④全日程共通イベント

- ・第2回アートバザール（協力：むきばんだ朝市の会、MT工房）
- ・第2回むきばんだ花絵（協力：とっとり花回廊）
- ・とっとりご金印ツアー（主催：とっとり弥生の王国推進課）

ク スペシャルイベント

①古代と自然探検ラリー

主 催 妻木晩田遺跡活用実行委員会

開催期間 令和3年7月17日（土）～8月29日（日）

参加者 301名

協力施設 米子市皆生観光センター
伯耆古代の丘公園
米子市福市考古資料館
鳥取県立大山自然歴史館

内 容

例年「古代と自然探検隊」として、むきばんだ史跡公園をはじめ、大山、米子地域の歴史や自然にふれる子ども向けのイベントを実施してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き代替として参加者各自が期間中にチェックポイントを巡ってミッションをクリアするラリー形式のイベント「古代と自然探検ラリー」を実施した。チェックポイントとして米子市皆生観光センター、伯耆古代の丘公園、米子市福市考古資料館、鳥取県立大山自然歴史館の協力を得て夏休みの期間である7月中旬から8月にわたって開催した。全体で301名の参加があり、うちすべての施設を周遊してプレゼント企画に応募したのは83名であった。当選者には地域の特産品や周辺観光施設の入場券の詰合せが贈られた。

②なりきり弥生人生活（中止）

主 催 妻木晩田遺跡活用実行委員会

開催予定日

第1パーティ

令和3年8月20日（金）～8月21日（土）

第2パーティ

令和3年8月21日（土）～8月22日（日）

定 員 6家族

内 容

むきばんだ史跡公園の「弥生のムラ」で竪穴住居での宿泊をはじめとした弥生時代の「衣・食・住」の追体験を行う1泊2日のイベントで、竹や木による食器の製作や土器炊飯、ナイトハイクなどを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

ケ 弥生体験

①はっくつ体験（中止）

内 容

例年、5～11月の日曜日及び祝日に妻木山地区の発掘体感ひろばで行っているはっくつ体験は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント時を除き中止した。

②お気楽♪弥生気分！

開催日 4月・10月・12月の土日 ※イベント開催日を除く

参加者 38名

内 容

例年、土、日曜日及び祝日に様々な弥生体験を予約不要で提供していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため相当期間が中止となった。開催できたのは4月、10月、12月のみで、原則、事前予約制で「勾玉づくり」を実施した。

コ その他

①むきばんだを探せ！

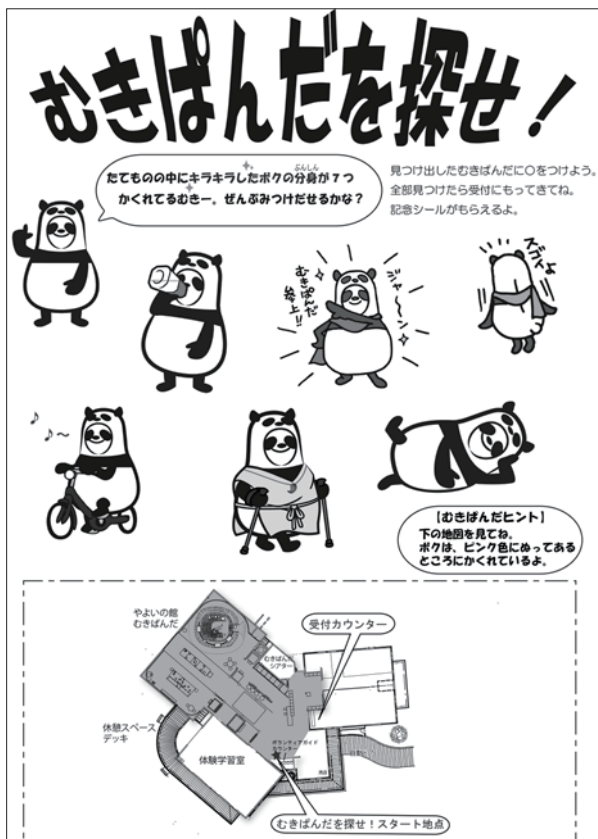
開催日 令和3年11月1日～令和4年3月31日

場 所 弥生の館 むきばんだ

参加者 443名

内容

「弥生の館 むきばんだ」内に貼られた”むきばんだ”（当公園の名誉ムラ人）のイラストをすべて探し出した参加者に記念シールをプレゼントする自由参加型のミニゲームを例年開園日は毎日実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～11月の間実施を控えていた。



- ・園内を走行できるのは、受付で発行する許可証を持った史跡公園レンタル自転車、白鳳の里レンタル自転車を利用している来場者、及び個人の持込自転車での利用者とする。
- ・史跡公園レンタル自転車の利用者には保険が適用される。個人持込自転車については、保険の適用外なので自己責任であることの同意を得た上で入場を許可する。
- ・必ずヘルメットを着用する。
- ・歩行者や他の自転車に十分注意する。
- ・自転車は指定された管理道のみ走行する。
- ・急な坂道では、下りは降車して歩く。

【電動アシスト自転車の貸し出し】

運用期間 通年

※雨天時や路面が濡れているときは中止

貸出台数 26インチ電動アシスト自転車7台

貸出制限 身長142cm以上

受付方法 当日受付・事前予約可

②らくらくサイクリング事業

むきばんだ史跡公園は、園内が広く、来園者に園内を広範囲で見てもらうため、7台の電動自転車を設置し、無料で貸し出しを行っている。（利用者への保険は、むきばんだ史跡公園で負担 雨天等の荒天時は貸し出しを中止）

コロナの影響で令和2～3年度は感染防止のため、貸し出しを制限していたが、例年は300人程度の利用がある。

【園内走行のルールについて】

II 連携・協力

1 教育機関との連携

鳥取県教育委員会事務局小中学校課、鳥取県教育センター及び鳥取県埋蔵文化財センターと連携して、令和3年度から文化財を活用した「ふるさとキャリア教育」・「歴史授業」の学校教育支援プログラムの実践に取り組んでいる。

学校教育支援プログラムは、「①地域の遺跡、出土品の教材活用や授業実践についての相談対応」、「②専門職員による地域の遺跡、出土品を教材とした出前授業」、「③土器、石器などの出土品の貸出し」、「④埋蔵文化財センターまたは学校保有の出土品を学校内に展示」、「⑤常設展示の見学、石包丁づくりなどの古代生活体験」、「⑥教員向けに地域の遺跡、出土品の授業活用についての講座開催」、「⑦教員向けの教育センター『学校教育支援サイト』に教材研究用の資

料・冊子を掲載」の7つの項目が挙げられる。

このうち、むきばんだ史跡公園では、②・⑤のプログラムを実践している。特に、②の出前授業では、小学6年生社会科の「歴史学習導入（歴史学習の基本を押さえよう）」や「弥生時代（むらからくにへ）」において、国史跡妻木晩田遺跡を教材とした授業を実施した。

○「歴史学習導入（歴史学習の基本を押さえよう）」

・令和3年6月14日 大山町立名和小学校

○「弥生時代（むらからくにへ）」

・令和3年6月18日 大山町立中山小学校

・令和3年6月23日 米子市立淀江小学校

・令和3年6月28日 大山町立大山小学校

・令和3年7月2日 米子市立尚徳小学校



小学校への出前授業

2 妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会

妻木晩田遺跡を訪れた来園者に対して遺跡を案内し、その魅力を伝えて楽しんでもらうために、平成13年に「妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会」が設立された。同会は、定時・予約ガイドの手配、資質向上を目的とした積極的な講座等の受講及び自主研修等を行っており、通常の遺跡案内のほか、当公園が主催するイベントでも遺跡ガイド等で協力いただいている。

当公園では、スキルアップ研修の開講、遺跡案内に有用な推薦講座の紹介、県外関連施設への研修といった会員の資質向上に係る支援、そして新規ボランティアガイドの募集及び養成の協力を行っている。

組織の概要

設立 平成13年2月10日

会長 国谷 光彦

会員数 38名（令和4年3月末現在）

活動内容

例年、妻木晩田遺跡の案内やむきばんだ史跡公園主催イベントの支援を行っているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を休止した。

史跡公園主催の研修、講座

ガイド研修

○発掘調査現地説明

日程 令和3年12月1日（水）

参加者 18名

内容

仙谷1号墓で実施していた第37次発掘調査の調査成果について、調査担当者から説明した。

○ボランティアガイドマニュアル2021研修

日程 令和3年12月5日（日）

参加者 24名

内容

新しく改訂したボランティアガイドマニュアルに沿って、ボランティアガイドの方法について研修を実施した。

○その他

接遇研修及び県外研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

3 妻木晩田遺跡活用実行委員会

妻木晩田遺跡活用実行委員会は、米子市及び大山町に所在する「国史跡妻木晩田遺跡」の活用を行い、両市町民の文化財に対する意識の向上と活性化を図るため、平成17年に設置された。事務局を当公園内に置き、経費は鳥取県・米子市・大山町が負担している。

今年度は委員会を1回開催し、主催事業として「古代と自然探検ラリー」を開催。また共催事業として「むきばんだフェスタ」を開催した。

活用実行委員会委員及び幹事

会長

竹内 友徳（鳥取県立むきばんだ史跡公園 所長）

副会長

前田 昇（むきばんだ応援団 事務局長）

委員

横川 佐津子（ふれあい茶論弥生の風 代表）

国谷 光彦（妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会 会長）

山浦 敦史（米子市淀江振興本部淀江振興課 課長）

原 宏行（米子市経済部文化観光局観光課 課長）

木村 公亮（鳥取県西部総合事務所県民福祉局 西部観光商工課 課長）

戸井 歩（鳥取県地域づくり推進部とっとり弥生の王国推進課 課長）

笹尾 千恵子（米子市上淀白鳳の丘展示館 館

長)

幹事

平山 晃基 (米子市経済部文化観光局文化振興課 主事)

若山 俊介 (大山町観光課文化財室 主事)

石原 恵一 (西部総合事務所県民福祉局西部観光商工課観光担当 課長補佐)

田中 澄子 (妻木晩田遺跡ボランティアガイドの会事務局)

井上 玲美 (米子市上淀白鳳の丘展示館 学芸員)

玉木 秀幸 (鳥取県立むきばんだ史跡公園 係長)

河合 章行 (鳥取県立むきばんだ史跡公園 係長)

本池 優子 (鳥取県立むきばんだ史跡公園 係長)

枡家 豊 (鳥取県立むきばんだ史跡公園 文化財主事)

にわづくり体験等で講師として指導いただいている。

むきばんだを歩く会

妻木晩田遺跡を取り巻く自然環境を学び、その観察成果を情報発信に活用することを目的に平成17年4月に発足した。

月1回定例会を開き、植物観察や写真撮影を行い、毎月の観察結果を「花だより」として刊行している。これまでに観察した植物は250種類にも及ぶ。また、樹木解説板を園路周辺の樹木、約100本に取り付けるなどの活動を積極的に行っている。

妻木晩田遺跡で見ることのできる樹木や草花を写真で紹介し、名前の由来や暮らしとの関係を記載した植物マップの発行などを行っている。

【委員会】

開催日 令和3年4月22日(木)

参加者数 19名

内 容

- ・令和3年度副会長、監事の選任について
- ・令和3年度事業報告、収支決算報告について
- ・令和3年度事業計画(案)、収支予算(案)について

4 サークル活動

土器づくりの会

弥生講座の参加者により組織されたサークル(平成16年発足)である。弥生土器の復元研究を行う一方、復元した竪穴住居内に置く展示用の土器や、宿泊体験に使用する炊飯用の土器などの製作に協力いただいている。また、土器づくり講座や土器復元講座、イベントの土器・は

Ⅲ その他の事業

1 とっとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト

(1) プロジェクトの概要

鳥取県内の優れた文化財の地域資源としての魅力を発掘し、地域活性化の資源として活用するため、現在は文化財としてあまり認識されておらず地域に埋もれている文化遺産を掘り起こして光を当て、その魅力を地域活性化の資源として活用するために事業を実施した。

実施主体

とっとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会（委員長：田中秀明）

事務局：むきばんだ史跡公園

事業

とっとりの文化遺産の魅力を発掘し、地域にとって貴重な資源であることを学んでもらうために上淀廃寺に関する文化遺産トークプレイスのほか、法勝寺電車文化財指定10周年記念事業として米子から法勝寺間の廃線跡をコース別に近隣の文化遺産の紹介をしながらウォーキングを楽しんだり、淀江傘の誕生から200年受け継がれた「淀江傘製造技術」の製造工程の一部や道具類、淀江傘を展示したり、製作工程の様子を映像で紹介した。

事業財源

文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）、鳥取県、米子市、（公財）米子市文化財団（上淀白鳳の丘展示館、米子市立山陰歴史館）、淀江傘伝承の会 負担金

(2) 個別の事業概要

ア よどえまると道草日和 2021

事業費 2千円

事業概要

平成25年度から実施している「よどえまると道草日和」は、地域住民が主体となり地域の文化や魅力を掘りおこし、イベントとして企画することで地域内外へ広く発信することに成功している。

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、文化遺産を活かしたまちあるき体験プログラム事業等は実施せず、ホームページに過去の実施状況を掲載した。

イ 学ぶ・楽しむ淀江・大山の歴史遺産講座

事業費 279千円

事業概要

国史跡上淀廃寺跡から国内最古級の彩色仏教壁画が発見されて30年目にあたることから「上淀廃寺について」と題して連続講座を開催し、上淀廃寺について学んだ。

第1回は「伯耆上淀廃寺跡から山陰の古代寺院を考える」と題した講演・トークセッションを行った。

第2回は「上淀廃寺発掘30年をふりかえる」と題した基調講演、「律令国家と古代の地域社会」と題した記念講演を行い、講演内容や上淀廃寺の保存・活用を踏まえたトークセッションを行った。

実施状況

第1回 講演会・トークセッション

開催日 令和3年11月14日（日）

講師

講演会

花谷 浩（出雲弥生の森博物館 館長）

トークセッション

花谷 浩

中原 斉（米子市文化振興課 専門官）

会場 むきばんだ史跡公園 体験学習室

参加者 30名

第2回 講演会・トークセッション

開催日 令和3年11月21日(日)

講師

講演会

中原 齊

坂井 秀弥(公益財団法人大阪府文化財センター 理事長・奈良大学名誉教授・日本遺跡学会 会長)

トークセッション

坂井 秀弥

中原 齊

井上 玲美(上淀白鳳の丘展示館 主任学芸員補佐)

会場 むきばんだ史跡公園 体験学習室

参加者 34名

上淀廃寺をテーマとした連続講演、トークセッションを行うことで歴史的意義や貴重さをより実感していただく機会を提供できた。

事業成果

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し、感染防止対策をとって実施した。アンケート結果からは、「上淀廃寺の新しい知識を得て大変勉強になりました。」「あらためて上淀廃寺の魅力を再認識しました。今後も継続的に研究の成果の発表の場を企画していただきたいと思います。」等の前向きな御意見を多くいただき、地域にある文化遺産の歴史的意義や魅力を感じていただく良い機会となった。



歴史遺産講座(第1回)

ウ 法勝寺電車文化財指定10周年記念事業

法勝寺電車廃線ウォーク

事業費 179千円

事業概要

ウォークコースは、全線コース(A米子元町パティオ広場～キナルなんぶ:約15km)とハーフコース2種(B米子元町パティオ広場～南部町天萬庁舎:約9km、C南部町天萬庁舎～キナルなんぶ:約6km)を設定し、「法勝寺電車廃線跡ウォークマップ」を基に廃線跡を歩き、道中では関連遺構や復刻駅名標の他、廃線跡沿線の文化遺産(延喜式内社 宗形神社、普段寺古墳群等)を巡った。ゴール地点のキナルなんぶには法勝寺電車現存車両のデハ201形203号電動客車(以降、「デハ203号」と表記)の他、法勝寺電車関連資料や復元ジオラマの常設展示がされており、デハ203号内や、その他展示を見学し、全行程を終了した。

事業成果

廃線跡を歩き、遺構や復刻駅名標の他、廃線跡沿線の文化遺産(延喜式内社 宗形神社、普段寺古墳群等)を巡ったことで、文化財という認識が薄い近代の文化財に関する歴史認識を醸成することができ、また法勝寺電車だけでなく沿線域の文化遺産を総合的に認識してもらえる機会となった。



歴史遺産講座(第2回)

**エ 法勝寺電車文化財指定 10 周年記念事業
まなぶ・楽しむ、よなごの鉄道遺産事業**

事業費 475 千円

事業概要

法勝寺電車廃線 沿線の文化遺産マップを製作した。平成 25 年度に作成したマップを基に、新たに廃線跡及び関連資料等の現状を調査し、鉄道遺構や沿線の宗像神社等の文化遺産について併せて紹介した。また、文化財への興味の入力口や今後の観光資源として活用できるツールとして、法勝寺電車ペーパークラフト、復刻硬券切符を作製した。

令和 3 年 9 月 20 日に文化講演会「鉄道遺産 法勝寺電車を知ろう」を開催する予定であったが、全国及び鳥取県内での新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

事業成果

まなぶ・楽しむ、よなごの鉄道遺産事業文化遺産マップについては、ウの事業にも一部利用した。文化遺産が一定の範囲に集中する電車軌道跡に沿って文化遺産が点在するラインの文化遺産マップを作成することができ、徒歩による文化財めぐりに大変重宝するものとなった。

今後、ウォークやサイクリングなど、多様な手法で文化遺産を巡る活用の展開が期待される。

また、法勝寺電車車両ペーパークラフト、復刻硬券切符についても、一部、法勝寺電車廃線ウォークで活用し、マップと併用して、当時使われた法勝寺電車関連品を再現することで、法勝寺電車知らない子どもたちをはじめ、幅広く文化財の大切さを浸透させることが出来た。今後もマップと併せ、法勝寺電車を知ってもらうためのツールとして継続活用する。

オ 淀江傘伝承活性化事業

事業費 1,300 千円

事業概要

企画展 「淀江傘 200 年～受け継がれた技～」

開催期間 令和 4 年 2 月 19 日（土）～3 月 21 日（月・祝）

淀江傘の歴史、製作工程、道具類の展示、ロクロ（和傘部材）の製作展示等を行った。

講演会

令和 4 年 3 月 5 日（土）に講演会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

事業成果

淀江傘は、米子市指定無形文化財「淀江傘製造技術」を淀江傘伝承の会が継承している地域の文化遺産である。近年、テレビ等で取上げられるなど注目を集め、地域振興にも寄与している。淀江傘の誕生から 200 年を迎え、文化財としての価値を広く周知・普及啓発につなげる機会となった。

Ⅳ 利用状況

1 入場者数

令和3年度入場者数 19,688名
(前年度比 98.9%)

2 施設の利用状況と今後の対策

令和3年度の年間入場者数は19,688名(前年度比98.9%、225名減)で、予約利用4,565名(同133.1%、1,134名増)、個人利用等15,123名(同91.8%、1,359名減)となり、全体では微減した。

予約利用では、一般予約、旅行会社関係が激減した反面、教育関係が大幅に増加した。教育

関係は県東・中部を中心とした県内外の小学校の利用が多く、前年度からほぼ倍増している。

小学6年生の社会科の学習内容を、実物を見ながら学べる点や、広い園内で新型コロナウイルス感染症対策をとりながら活動できる点が好評で、前年度に引き続いて訪れる学校も多い。

個人利用等は減少している。年度初めは前年度と同等以上の入場があったものの、新型コロナウイルス感染症の第5波が8月に、第6波が1月に発生し、入場者が大きく減少した。

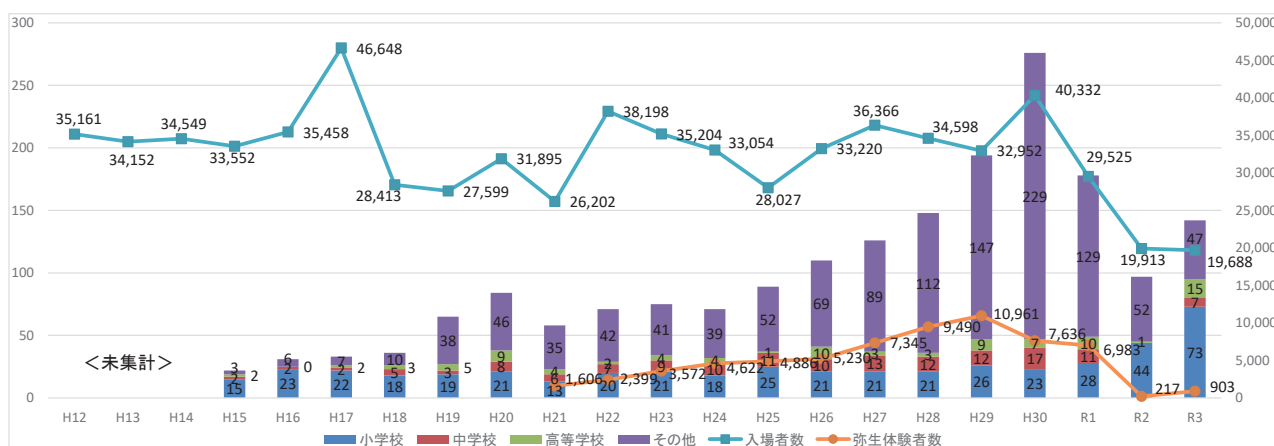
新型コロナウイルス感染症の影響は前年度に引き続き大きいですが、安全かつ学習に役立つ訪問先としての需要を満たしていく必要がある。

入場者数内訳

区分	予約利用				その他 (個人等)	合計
	一般予約	旅行会社 関係	教育関係 (学校)	教育関係 (学校以外)		
R2	3,431	590	841	1,952	48	19,913
R3	4,565	392	143	3,839	186	19,688
差引	1,134	△ 198	△ 693	1,887	138	△ 225

月別入場者数

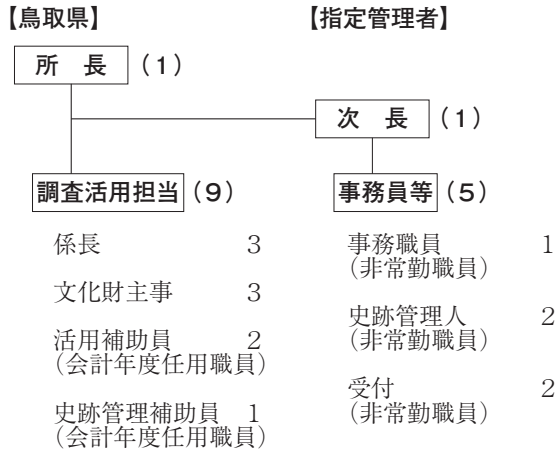
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予約利用	478	205	777	430	13	200	1,305	905	152	8	13	79	4,565
その他	1,573	1,914	902	1,145	1,310	1,764	1,645	2,753	819	282	288	728	15,123
合計	2,051	2,119	1,679	1,575	1,323	1,964	2,950	3,658	971	290	301	807	19,688
前年度	1,215	1,215	1,124	1,462	1,420	2,496	3,570	3,025	1,337	449	1,181	1,419	19,913
増減	836	904	555	113	△ 97	△ 532	△ 620	633	△ 366	△ 159	△ 880	△ 612	△ 225



むきばんだ史跡公園利用者数 (平成12～令和3年度の実績)

V 公園運営（令和3年度）

1 組織



2 職員

【鳥取県】

職名	氏名
所長	竹内 友徳
調査活用担当	
係長	玉木 秀幸
〃	本池 優子
〃	河合 章行
文化財主事	長尾かおり
〃	枅家 豊
〃	森藤 徳子
会計年度任用職員(活)	渡辺和香子
〃	松岡 藍
〃(史補)	池口 道生

【指定管理者（(公財)鳥取県教育文化財団）】

職名	氏名
次長	松本 薫
事務職員	米田 志保
史跡管理人	岡本 敏男
〃	島田 良典
受付	堀江 実
〃	森田 ゆみ

3 事業費

(千円)

事業名	事業費
「とっとり弥生の王国」知・楽・学事業	6,778
「とっとり弥生の王国」プロモーション推進事業	3,111
妻木晩田遺跡調査整備事業(発掘調査)	19,295
妻木晩田遺跡調査整備事業(保存整備)	14,688
むきばんだ史跡公園運営費	54,671
合計	98,543

4 施設の概要（令和4年3月時点）

ア 土地	1,491,657㎡
イ 建物	2,028.14㎡

名称	年度	面積 (㎡)
妻木晩田遺跡事務所(調査研究棟)	H11	493.42
弥生の館 むきばんだ	H21	837.52
遺構展示館	H22	268.56
弥生の森休憩舎	H22	71.73
ボランティア休憩所	H13	213.04
東屋(3棟)	H12	58.08
危険物保管庫	H17	5.49
遺物収蔵庫	H25	50.78
自転車倉庫	H29	9.3
機械収蔵庫	H30	20.22
合計		2,028.14